

## 学会ニュース 第29回学術総会のご報告

理事長 桂川修一

2023年1月20日（金）・21日（土）に滋賀県大津市・ピアザ淡海「滋賀県立県民交流センター」にて第29回学術総会が開催されました。3年ぶりの現地開催で222名の参加者があり、会長講演、特別講演、教育講演、特別企画、シンポジウム8、ワークショップ、一般演題26、アドバイザー資格認定研修会（事例検討2題）と多くの演題が発表されました。

感染対策を遵守しながら、演者の熱心な発表と参加者から活発な質疑応答があり、盛会となった2日間でした。大会長をお務めいただいた滋賀医科大学医学部精神医学講座教授 尾関祐二先生、副会長 同 看護学科 臨床看護学講座（精神）教授 河村奈美子先生、事務局長 同精神医学講座講師 吉村 篤先生をはじめ、開催のご準備と当日の運営にご尽力くださった精神医学講座のスタッフの皆さま（秘書の豊田妙子様には準備の段階より色々お世話になりました）にはこころよりお礼申し上げます。

第30回学術総会は、11月4日（土）、5日（日）に東京豊島区・大正大学にて開催されます。5月下旬にご案内のホームページが立ち上がる予定ですので、会員の皆さまはご参照のうえ奮ってご参加ください。

### 第29回多文化間精神医学会学術総会を終えて

第29回多文化間精神医学会学術総会 大会長  
滋賀医科大学 精神医学講座 教授  
尾関祐二

第29回多文化間精神医学会学術総会を終え、大会長と致しまして一言ご挨拶申し上げます。改めて大会準備を振り返りますと、当初は開催形式の決定に苦労したように思います。新型コロナウイルス感染症によりまして、研究会から学会までオンライン中心で開催されることが主流となり、その後徐々に現地開催が行われ始めた時期でありまして、開催形式決定には多少の困難を感じておりました。しかし皆様方のご支援・励まし等をいただきまして無事現地開催させていただくことができました。またこの間、臨床医と致しましては新型コロナウイルス感染症に関連することばかりでなく、感染症が広がっている間にも当然のことではあります通常課題や動きが継続していることを強く感じておりました。学会当日はこうした状況に合わせて、多彩な企画、多くの一般演題のご発表をいただきまして、大変充実した内容になりました。この点につきましても改めて皆様方には感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症への適応が進むと共に、通常的生活を取り戻しつつ、過去になかった新たな変化も生じています。再び海外との交流も活発になり、社会構造の変化も待たない状況となっております。そうした流れの中で本学会の役割もさらに大きくなるように感じております。こうした状況の中、多文化間精神医学会の今後ますますのご発展と第30回大会の盛会を祈念いたしましてごあいさつを終わりとさせていただきます。改めてありがとうございます。

文化を超える心の癒しと再生  
第29回多文化間精神医学会学術総会  
The 29th Annual Meeting of Japanese Society of Transcultural Psychiatry



(尾関祐二大会長、滋賀医科大学医学部の先生がたと学会員との記念ショット)